

室内楽の夕べ

ICHIKYO
市響

1977. 3. 20

P.M. 6:30

市川市民会館ホール

主催 市川市教育委員会
千葉県音楽振興協議会
千葉交響楽団協会
市川交響楽団協会
後援 京成電鉄株式会社

PROGRAM

No. 117

ベートーヴェン
オーボエ三重奏曲

モーツァルトの「ドン・ジョバンニ」中の
「お手をどうぞ」による変奏曲 ハ長調

オーボエ 高山公孝、金野高子
イングリッシュホルン 坂 逸郎

メンデルスゾーン
混声合唱曲

市川混声合唱団
指揮 村上正治

緑の森
手に手をとりあい
霜がおりて
その墓のうえで
うぐいす
おお雲雀

J. S. バッハ
ブランデンブルグ協奏曲 第3番

バイオリン 熊谷信昭、前原共子、福原祥子
ビオラ 大豆生田稔、星 乗昭、沢田 健
チェロ 福原耕二、田頭 扶、古川康一
コントラバス 高柳 亘宏
チェンバロ 横田光代
指 揮 金子建志

平尾 貴四男
木管五重奏曲

フルート 竹中 靖
オーボエ 秦 俊夫
クラリネット 池田 八十二
ファゴット 米原光夫
ホルン 越塚康史

ピバルディ
協奏曲「四季」より春

市響室内合奏団
バイオリン二 宮 伸雄
指 揮 金子建志

本八幡南口
長崎屋デパート内に

文具・事務用品
額と画材の

せがわ堂

市川東通り1丁目3 電22-1812
市川駅南口店 電22-0652
本八幡店 電33-1311内線41
千葉店(京成千葉駅アミューズ・
センター内) 電0487-22-0573
上尾店 電0487-74-2628

市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来25年の歩み続け、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体で、然も音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブでもありません。自分達の喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体でありまして、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在であります。又、当協会には、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラの4楽団によって組織されております。

会長 泰道 照山
理事長 村上 正治
理事 今井 正 川崎 千春
岸本 義一 古賀 米吉
渋谷 寿光 鈴木忠兵衛
杉本郁太郎 村岡 元一
監事 富田 英夫 泰道 三八
評議員 飯島藤十郎 大久保康雄
他23名
顧問 出光 昭介 白井 莊一
木川田一隆 坂斎梅三郎
友納 武人 島海 一郎
村岡 信一 三木 春逸
渡辺一太郎 他23名
参与 伊藤恒太郎 大木 正興
他110名

事務局長 熊谷 信昭
事務局次長 伊藤 順夫
会計 横田 朝之

会員募集

当協会の社会教育活動を円滑にして下さる協力会員の事で、会員は案内通知を受けますし当協会主催の行事には入場無料、特別演奏会は半額です。

維持会員 年2,000円
賛助会員 年10,000円以上

団員募集

入会金1,000円 会費月500円
各楽団を兼ねる事が出来る

市川交響楽団練習

市川小学校講堂(国道沿い)
市川駅北口より国道西へ徒歩4分
京成真間駅西口より徒歩8分
毎土曜日午後6時20分

市川交響吹奏楽団練習

宮田小学校講堂(北越通り)
市川駅南口より東へ徒歩3分
京成真間駅南口より徒歩8分
毎金曜日午後6時30分

市川混声合唱団練習

自然幼稚園(消防署本部裏)
市川駅北口より国道東へ徒歩3分
京成真間駅東口より徒歩2分
毎木曜日午後7時
技量は問題にしません

市響ジュニアオーケストラ練習

熊谷ビル三階
市川駅南口アーケード中央出口より
右へ20m右側
毎日曜日午後1時30分

事務局 市川市新田2-33-10
TEL 0473(23)1619

— 紹 介 —

市響室内合奏団

第一バイオリン 上敷領 清香、熊谷 信昭、石井 久雄
永田 匡、村上 葉子、三原 明人
第二バイオリン 木佐貫 秀弥、福原 祥子、深沢 武夫
村田 美千子、吉川 多津子、中森 浩子
ビオラ 小野 志和子、斉藤 十一郎、鶴島 章子
横田 行雄
チェロ 小坂 克志、福原 耕二、横田 朝之
コントラバス 鈴木 達郎、牧野 一男
チェンバロ 横田 光代

市川混声合唱団

この合唱団は、昭和24年に結成し、親子二代にわたる人とか、親子そろってという人もいます。難点は、勉強、仕事の都合上、若い団員の定着がむずかしく、メンバーの構成が非常に流動的であることです。でもこの事も難点とはせず、新しい息吹きが次々と入る美点とみなし団員一同練習に励んでいます。

練習場は、村上先生のおよき理解者であり、友人でもあられる、市川自然幼稚園の園長、石田先生の御親切に助けられて、幼稚園のホールを使わせていただいております。合唱に興味をお持ちのお方は、経験の有無、その他一切問いません。一度木曜日夜7時からの練習をのぞいてみて下さい。

村上 正 治

昭和14年国立音大作曲科卒業。昭和21年に市響の前身市川文化会音楽部を組織、24年に市川混声合唱団、26年に市川交響楽団を結成指揮に当り、市川交響楽団協会の副会長として交響楽運動に協力、36年には市川交響吹奏楽団も結成、41年には千葉交響楽団協会の理事長として習志野フィルや千葉フィルの結成援助もし、音楽振興に当たっている。又、市川市芸術文化団体協議会会長、県芸術文化団体協議会副会長、県音楽振興協議会会長、日本アマチュアオーケストラ連盟副理事長である。

高山 公 孝

日本大学在学中、昨年秋のスイートナー指揮の大学選抜メンバーに選ばれブラームスの一番のシンフォニーに出演、市響の成長株。

金野 高 子

市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラメンバー、この春市川八中を卒業、東京音大附属高校に入学、オーボエを専攻しようと張り切っているお嬢さん。坂逸郎氏に師事。

坂 逸 郎

N響団友、当交響吹奏楽団の指揮、市響の技術アドバイザー、楽団発足当初より25年に亘り特別団員として活躍。

熊谷 信 昭

市響発足以来の団員、千葉大学卒業後、武蔵野音大でバイオリンを学ぶ、現在、当協会事務局長、弦担当の技術アドバイザー。熊谷ビル社長の他各地に音楽教室を開設。

前 原 共 子

千葉大学出身、同大管弦楽団で活躍、現在市響第一バイオリンに在籍、江戸川区中小岩小学校で教鞭をとる。

福 原 祥 子

当団第二バイオリンのパートチーフ、本日同曲に出演のチェロの耕二氏とおしどりコンビ、ピアノもたくみで、ヤマハ音楽教室の講師でもある。

大豆生田 稔

オマメウダと読む、通称マメさん、市川二中時代より市響メンバー、現在東京大学文学部在学中、音大のオケよりうまいと評判の同大オーケストラのピオラ主席。

星 乗 昭

早稲田大学出身、同大オケで活躍、市響インスペクター、現在国府台女子学院の社会科学の先生、昨年結婚のホヤホヤで、奥様も当団の第一バイオリン奏者。

沢 田 健

東北大学卒、同大学のオケで活躍、一時秋田湯沢響にも在籍、現在市響ビオラの中堅として欠かせぬ存在、木更津高校の数学の先生。

福 原 耕 二

東北大学出身、同大オケでキャリアをつむ、市響弦楽四重奏団のメンバーでもある、ソード電算機システムに勤務する技術屋さん。

田 頭 扶

千葉大学出身、同管弦楽団で活躍、既に市響在籍十数年、チェロのパートチーフ、奥様も現在休団中だがチェロ奏者。日本金属材料技研勤務。

古 川 康 一

東京大学卒、天下に名だたる同大オーケストラでのキャリアを生かし市響に欠かせぬ存在、昨年は研究のため一年間アメリカに留学、今回は帰国後の第1回出演、国立電子技術総合研勤務。

高 柳 亘 宏

青山学院大学、同管弦楽団、昨年卒業後直ちに市響に入団、これからの活躍が楽しみの新進、インフォメーションディベロプメント勤務。

横 田 光 代

国立音大ピアノ科出身、ピアノ教室主宰、一男二女のママさん、当団オケ幹事長行雄氏夫人。

竹 中 靖

市響創立以来のメンバー、京都市立美大出身、フルートパートチーフ、運営幹事、現在葛飾区立小松中学校の美術の先生。

秦 俊 夫

千葉大学出身、同大オケで活躍、市響オーボエパートチーフ、その甘い音色は聞き手を魅了する、現在龍角散勤務。

池 田 八 十 二

当団の管部門担当の技術アドバイザーとして活躍、当団とはウェーバー、モーツァルト等のコンチェルトで協演、陸上自衛隊中央音楽隊在籍。

米 原 光 夫

島根大学で音楽専攻、市響バズーンパートチーフ、葛飾区立小松中学校で音楽の教鞭をとる。

越 塚 康 史

武蔵野音大出身、市響在籍20年、ホルンパートチーフ、運営幹事、ライブラリアン、荒川区立南千住中学校音楽科教諭。

二 宮 伸 雄

早稲田大学卒、同大オケで活躍、現在市響コンサートマスター、石川島播磨重工業KKの技術研究所勤務。

金 子 建 志

千葉県出身で、千葉高校を経て東京芸大に学び、1972年より市響の指揮者として入団、73年より市響の常任指揮者として私共の活動を円滑にし、皆から喜ばれているファイトマンです。セミプロの千葉フィルハーモニーの創立者でもあり、尚美学園の講師もされています。

~~~~~ 市 響 最 近 の 活 動 ~~~~~

- 昭和51. 7.18 25周年記念コンサート  
 第112回市響「交響楽の夕べ」 於市川市民会館
- 8.22 第113回市響「納涼コンサート」 於市川市民会館
- 9.18 市響録音FM放送 於NHK千葉放送局  
 20 市響の思い出話放映 於千葉テレビ
- 10.10 第114回市響「安川加寿子と市川交響楽団」 於千葉県文化会館  
 24 県民コンサート「交響楽の集い」 於山武中学校  
 30 学校文化祭へ賛助出演 於日之出学園
- 11.14 県音楽フェスティバルに参加出演 於千葉県文化会館  
 23 第115回市響「合唱の集い」 於市川市民会館  
 27~28 第4回全国アマ・オケ  
 「フェスティバル」参加 於山形市民会館
52. 1.15 市川市成人式「祝賀演奏」 於市川市体育センター  
 23 第116回市響「ファミリー交響楽コンサート」 於市川市民会館
3. 6 県民コンサート「交響楽の集い」 於風早北部小  
 20 第117回市響「室内楽の夕べ」 於市川市民会館
5. 5 第118回市響「市響ジュニア・コンサート」 於市川市民会館  
 22 第119回市響「交響楽の夕べ」 於市川市民会館
- 6.26 県民コンサート「交響楽の集い」 未 定  
 7.24 日本アマチュアオーケストラ・  
 クリニック参加 於市川市民会館
8. 7 第120回市響「納涼コンサート」 於市川市民会館
10. 2 千葉県芸術祭開会式「賛助出演」 於千葉県文化会館  
 2 第121回市響「千葉県芸術祭交響楽コンサート」 於千葉県文化会館  
 16 県民コンサート「交響楽の集い」 未 定
11. 6 第122回市響「合唱の集い」 於市川市民会館  
 26~27 第5回全国アマ・オケ  
 「フェスティバル」参加 於佐世保市民会館
12. 4 第123回市響「ファミリー交響楽コンサート」 於市川市民会館
53. 1.15 市川市成人式「祝賀演奏」 於市川市体育センター  
 3. 5 県民コンサート「交響楽の集い」 未 定  
 19 第124回市響「室内楽の夕べ」 於市川市民会館

市川フレンド学院

市川市東国分2-1-40

バス停 曾谷橋前

いつからでも

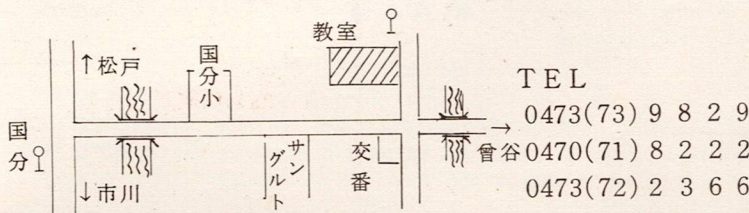
生徒募集

入学出来ます

ミセスフレンド教室

(奥様方の趣味と教養のために)

- ◎和 裁 教 室 月曜日午後 大塚きもの学院公認講師 地頭江先生  
 ◎民 謡 教 室 金曜日午後 二代目 足本小糸 鈴江先生  
 ◎鎌倉彫教室 日曜日午後 鎌倉彫師範 山本先生  
 ◎華道教室 火曜日午後 池の坊正教授 渡辺先生  
 ◎アートフラワー教室 金曜日午後 アートフラワー師範 二重作先生  
 ◎押絵教室 水曜日午後 御所流押絵師範 渡辺先生



# ご 挨拶

市響オーケストラ幹事長

横 田 行 雄

すっかり春めき、春分の日を明日に控えた休日の一晩、私達団員による「室内楽コンサート」にお出かけ下さいまして誠に有難うございます。私達は日頃、限られた時間のなかで、オーケストラ活動を行って、昨年は25年を迎え一連の記念演奏会を行いました。そしてこの室内楽コンサートが、一昨年より設けられ、今回が三度目になります。楽器を持って二人集れば、デュエットとし合奏が行え、三人なり四人なりのアンサンブルの集大成がオーケストラの演奏活動となるわけで、プライベートで集って楽しむだけでなく、発表の場があれば、尚一層の合奏技術の錬磨につながるという趣意でございます。

今回は技術アドバイザーとして面倒を見ていただいている御三方、オーボエの坂先生、バイオリンの熊谷氏、クラリネットの池田氏にそれぞれ加わっていただき、また、同じ協会の仲間である混声合唱団の出演で、ステージに彩を添えることが出来ました。どうぞごゆっくりと、ひとときお過ごしいたぎりたいと思います。

## — 曲 目 解 説 —

### オーボエ三重奏曲

ベートーヴェン

モーツァルトの歌劇「ドン・ジョバンニ」の「御手をどうぞ」による変奏曲ハ長調(2つのオーボエとイングリッシュホルンのための) WoO28

この曲は題名の通り、モーツァルトの歌劇「ドン・ジョバンニ」の「御手をどうぞ」を主題としており、8曲の変奏曲になっています。ベートーヴェンは、このようなオーボエ2本とイングリッシュホルン1本という編成の三重奏曲をこの曲の他に、作品87の三重奏曲と二曲書いています。この曲1797年ベートーヴェン27才の時に作曲され、同じ年にナショナル・コート・シアターで行なわれた慈善演奏会で初演されました。

### 混声合唱曲

メンデルスゾーン

ドイツロマン派のはじめの頃にあらわれた秀才作曲家。銀行員の息子として生れ、幼時から完全な音楽教育を受けた。ツェルターに指導され、ゲーテの知遇を受けるなど恵まれた環境に育った。15才の時には、すでに数曲の交響曲を書き、17才の時にシェークスピアの「真夏の夜の夢」からの序曲(OP21)を書いた。シューマンやショパンと親交を結び、一方では古典文献についての造詣も深く、バッハを長い歴史の忘却の中から掘りおこすのに努力した功績は忘れることが出来ない。

彼の作風は調和に富む穏やかなもので、その育った環境の良さがうかがわれるものである。

代表的な作品としては、まず「ヴァイオリンコンチェルト ホ短調」、「ピアノコンチェルト ト短調」、「フィンガルの洞穴」、「無言歌」(ピアノ曲)などがあげられる。

今日おきかせする合唱曲は、いずれも昔からよく耳にするもので、「三つの民謡」は、1834年、彼が25才の時の作品で、ハイネの詩に曲をつけたものである。この三曲は、「六つの合唱曲」の2~4番目にあたり、普通三曲つづけて演奏される。

「お・ひばり」は1839年頃同じく六つの無伴奏の合唱曲が作られ、その四曲目にあたる。

「うぐいす」はゲーテの詩に作曲され1837~43年に書かれた六つの混声合唱曲(OP59)の四番目にあたるもので、油ののりきっていた時代の美しい作品である。

### ブランデンブルグ協奏曲第3番ト長調 J. S. バッハ

ブランデンブルグ協奏曲は全部で6曲あり、ブランデンブルグ公クリスティ・アン・ルーノヴィヒに呈せられた。それぞれはいわゆるバロック時代の合奏協奏曲のジャンルに属するが、極めて個性的な楽器編成をとり、かつ変化に富んだ様式さまざまな楽曲構成をみせている。この第三番は第六番と同様に弦楽器だけの合奏で、バイオリン、ピオラ、チェロがそれぞれ三部にわかれる、通常合奏で行われることが多く、オーケストラの定期的演目としてもしばしば登場する。今回はそれぞれのパートをソロ

として演奏する。

第一楽章 アレグロモデラート

第二楽章 アレグロ

(一、二楽章の間に2小節だけのアダージョがチェンバロで奏される、通常の第二楽章の役割を果たす)

フルート・オーボエ・クラリネット・ホルンおよびファゴットのための

木管五重奏曲 = 1950 平尾貴四男

アンダンテ——アレグロ——プレスト

作曲家平尾貴四男氏は明治40年東京に生れ慶応大学の医科と独文科に学び、少年時代からピアノを始め、慶応大学独文科を卒業した翌年、昭和6年フランスに渡り、パリのスコラカントルウム、セザール・フランク音楽院などで学んだ。昭和10年帰国後フランス的香りを持つ洗練された味わいの器楽曲、歌曲等多くの作曲を残したが、昭和28年12月、46才でおしくも亡った。

この木管五重奏曲は昭和25年に作曲され、平尾氏を中心とする作曲家グループ「地人会」の発表演奏会で初演されたもので、三つの楽章から出来ている。

作曲者のことばによれば——

第1楽章アンダンテは<五つの楽器の間にとり交される。思い出の物語>

第2楽章アレグロは<山野をかけめぐる乱舞の心持>

第3楽章プレストは<無礼講の饗宴>と説明されている。

第2楽章と第3楽章は続けて演奏され、その間はホルンのカデンツァでつながれている。

合奏協奏曲「四季」 アントーニオ・ヴィヴァルディ

「四季」は、バロック時代の代表的作曲家ヴィヴァルディの、最も有名で、親しまれている曲の一つです。この曲は、作品8としてまとめられた12曲のヴァイオリン協奏曲集「和声とインヴェンションの試み」の中の第1番から第4番までで、それぞれ急、緩、急の3楽章から成っている。独奏ヴァイオリンと弦楽合奏、それに通奏低音のハーブシコードが加わった編成の曲で「春、夏、秋、冬」という順に名がつけられ、しかも、各楽章ごとに描写風の説明文が、ソネットとして書きこまれている。

今日は、この4曲のうちの第1番「春」を演奏しますが、この「春」には、明るい春を迎えて喜ぶ気分と情景が次のように描かれている。

第1楽章 アレグロ ホ長調 4分の4拍子

春が来て、小鳥たちは楽しげに歌う。泉の水も甘くさきさき、そよ風に呼吸しつつ流れる。時ならぬ雷鳴と黒雲。しかし、嵐が去ると、小鳥はふたたび歌う。

第2楽章 ラルゴ 嬰ハ短調 4分の3拍子

花咲く牧場の、木の蔭で羊飼いはまどろんでいる。なごやかな風が木の葉をうごかし、忠実な番犬がかたわらにねそべっている。

第3楽章 アレグロ ホ長調 8分の12拍子

牧神の吹く楽しい調べに、水の精は踊る。羊飼いはそれにならって踊り、輝やく春の美しさをたたえる。

## 予 告

### 第119回市響「交響楽の夕べ」

5月22日(日)6時半開演 入場無料

市川市民会館

リスト交響詩前奏曲

メンデルスゾーン交響曲第三番「スコットランド」

ラロス페인交響曲

バイオリン独奏 石井美穂子

演奏 市川交響楽団

指揮 金子建志